

参 考 资 料

高校生議員によるパネル資料

桑名北高等学校	53 (A-1~3)
津田学園高等学校	54~56 (B-1~11)
四日市南高等学校	57~58 (C-1~5)
暁高等学校	58~59 (D-1~5)
津高等学校	60~61 (E-1~5)
津西高等学校	61~62 (F-1~3)
セントヨゼフ女子学園高等学校	62 (G-1~2)
久居農林高等学校	63 (H-1)
名張高等学校	63 (I-1~2)
紀南高等学校	64 (J-1~4)

アンケート結果

I 6月23日 みえ高校生県議会 事前交流会	
【参加者(参加高校生・引率教員)アンケート結果】	65
II 8月21日 みえ高校生県議会	
【参加者(参加高校生・引率教員)アンケート結果】	66
【傍聴者アンケート結果】	69



A-1



A-2



A-3

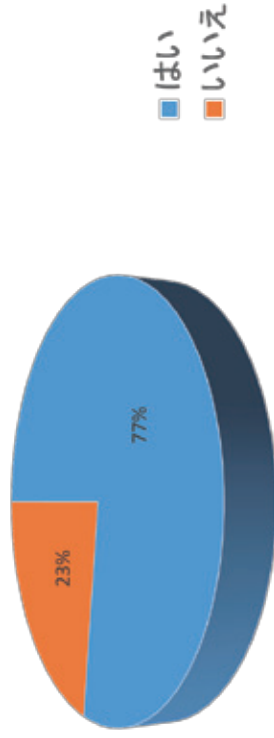
三重県南部に関するアンケート調査

三年制(651名)・六年制(70名)
(平成30年度7月6日実施)

津田学園高等学校

B-1

質問事項 1. 三重県の南部には行ったことはありませんか。



はい	いいえ
565名	166名

B-2

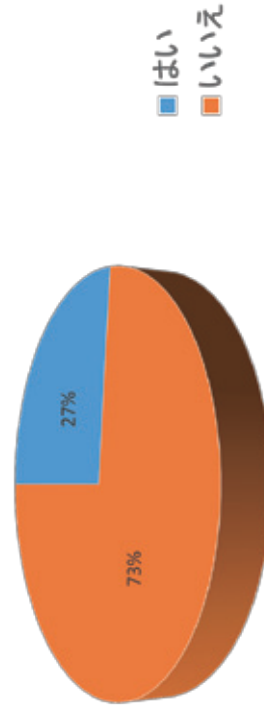
質問事項 2. 1で「はい」と答えた人は、どこに行ったことがありますか。

- 伊勢市(伊勢神宮)
- 志摩市(志摩スペイン村)
- 熊野市(熊野古道)
- 鳥羽市(鳥羽水族館)
- 尾鷲市
- 大台町
- 玉城町
- 紀北町

など

B-3

質問事項 3. 三重県南部で行ってみたいところがありますか。



はい	いいえ
191名	521名

B-4

質問事項 4. 3で「はい」と答えた人は、どこに行ってみたいと思いますか。

- 伊勢市(伊勢神宮)
- 志摩市(志摩スペイン村)
- 熊野市(熊野古道)
- 大台町
- 玉城町

など

B-5

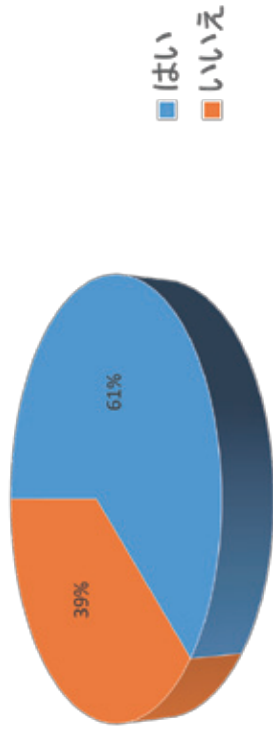
質問事項 6. 5で「はい」と答えた人は、どのような点が魅力的だと感じますか。

- 自然が豊か
- サミットが開催された
- 世界遺産に登録された場所がある
- 観光地(伊勢神宮や熊野古道)がある

など

B-7

質問事項 5. 三重県南部について魅力的だと感じますか。



はい	いいえ
445名	290名

B-6

質問事項 7. 5で「いいえ」と答えた人は、その理由を簡単に書いてください。

- 遠い
- 利便性が悪い
- 田舎のイメージがある
- 若者向けの場所がない
- 何度も行きたいと思うところがない
- 何があるかわからない、興味が無い

など

B-8

質問事項 8. 三重県南部に人を引き付けるためには、

どんな対策を取るべきか、アイデアを教えてください。

- イベントをたくさん開催する
(例)音楽フェス、ゆるキャラグランプリ、オリンピック など
- 若者向けの場所をたくさんつくる
(例)インスタ映えするスポット など
- 自然を守りながら開発・都市化を進める、津波対策を行う
- 宣伝・広報活動を全国に向けてもつと行う
(例)CM、ポスター、面白いPR動画、SNSで発信 など

B-9

質問事項 8. 三重県南部に人を引き付けるためには、

どんな対策を取るべきか、アイデアを教えてください。

- 交通の便をよくする
(例)電車・バスなどの公共交通機関、高速道路 など
- 三重県南部にしかないものをたくさんアピールする
(例)食べ物や真珠などの特産品、自然、田舎での生活の良さ など
- 学校行事だけでなく、南部へ人に来てもらうようにする
(例)企業や公務員の研修や旅行の誘致 など

B-10

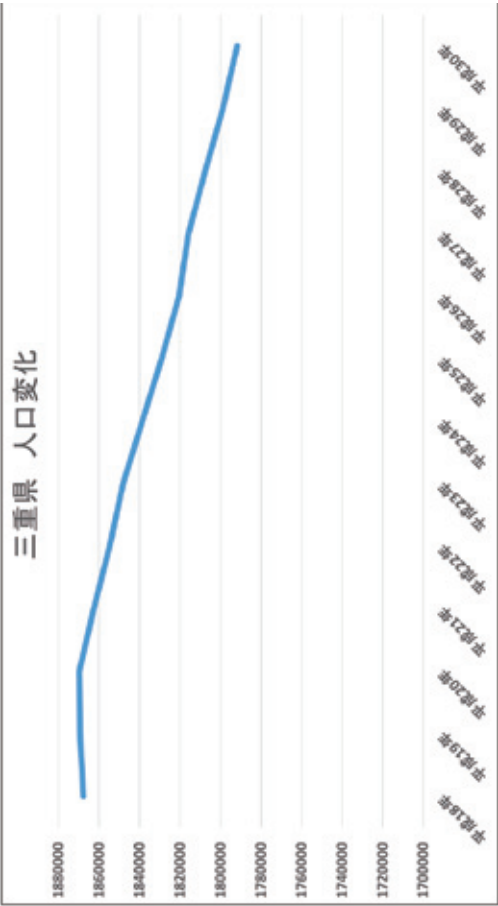
質問事項 8. 三重県南部に人を引き付けるためには、

どんな対策を取るべきか、アイデアを教えてください。

- 遊べる場所や観光場所をもつとつくる
(例)テーマパーク、アミューズメントパーク、水上パーク など
- 有名人を観光大使にする
- ふるさと納税の宣伝をする
- 三重県南部からアーティストや有名人を生む
- 東海総体の会場で、その地域の特産物を使った料理を提供する

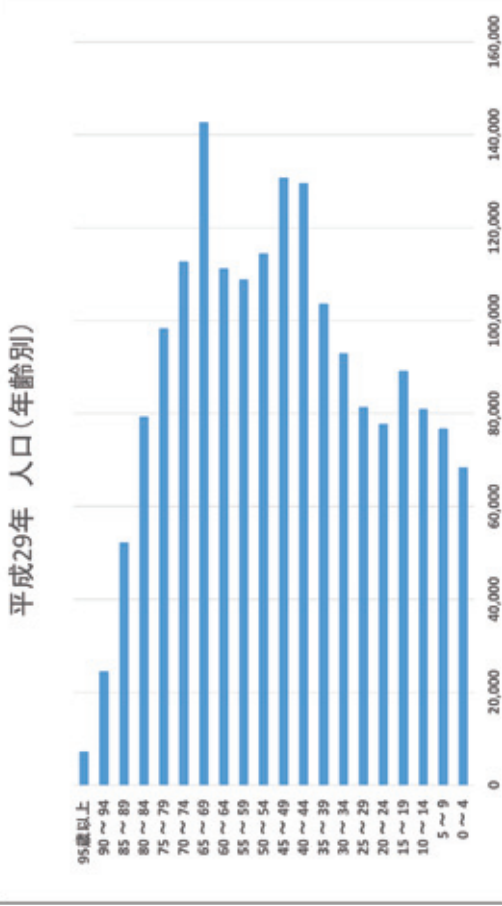
B-11

三重県 人口変化



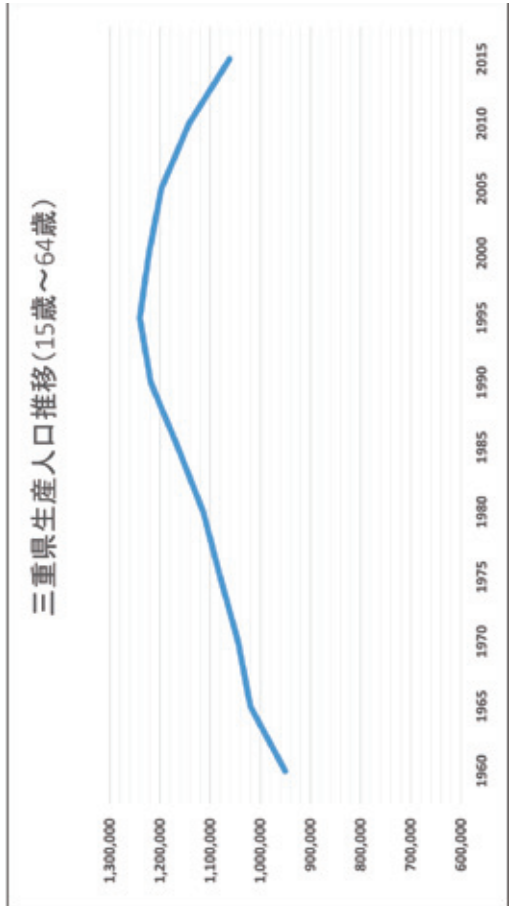
C-1

平成29年 人口(年齢別)



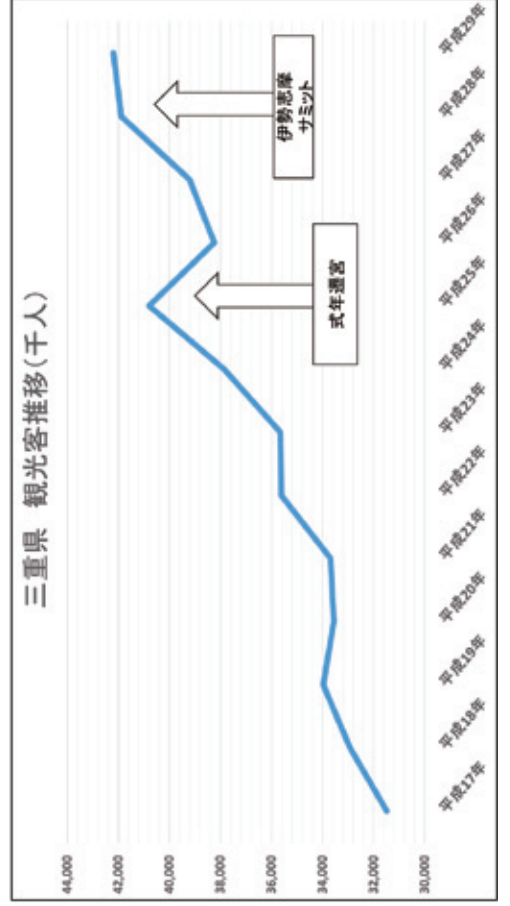
C-2

三重県生産人口推移(15歳～64歳)



C-3

三重県 観光客推移(千人)



C-4



三重県雇用経済部
中小企業・サービス産業振興課

<http://www.shokupref.mie.lg.jp/p/ind-ex.html> より

C-5

1, 防災グッズあるいは備蓄品 (懐中電灯や水、乾パンなど)が自宅にありますか？

- A 準備しており、場所も把握している B 頼りが用意しているが、詳しく把握していない **43%**
- C 備蓄していない D 全くわからない(興味がない) **14%**

2, 自宅で家具などを固定していますか？

- A ほとんどの家具を固定している B 一部の家具を固定している **45%**
- C 家具を固定していない D わからない **3%**

D-1

3, 大地震が起きた際の対処(家族で集まる場所など) について、家族で話し合っていますか？

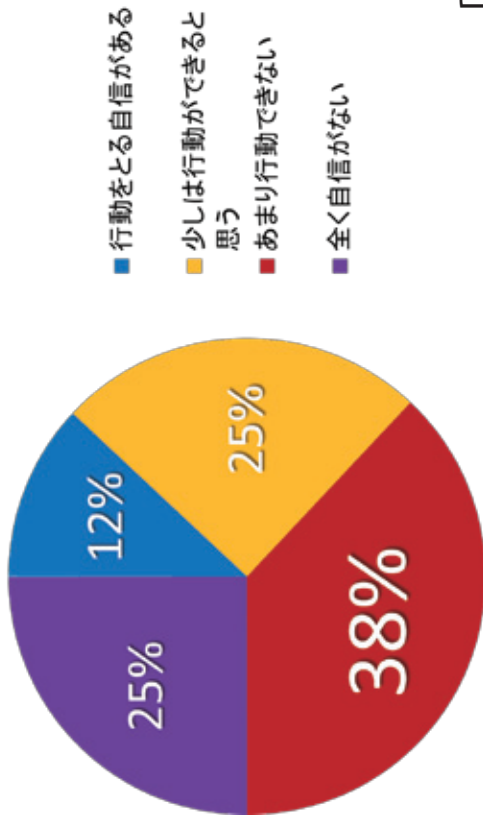
- A 話し合っており、対処法を認識している B 話し合っているが、対処法があいまいである **38%**
- C あまり話したことはない D 全く話題にならなかったことはない **29%**

4, 学校で地震が起きた際の体育館(グラウンド) までの避難経路を理解できていますか？

- A よく理解できている B おおまかではあるが、理解できている **61%**
- C あまり理解できていない D 全くわからない **3%**

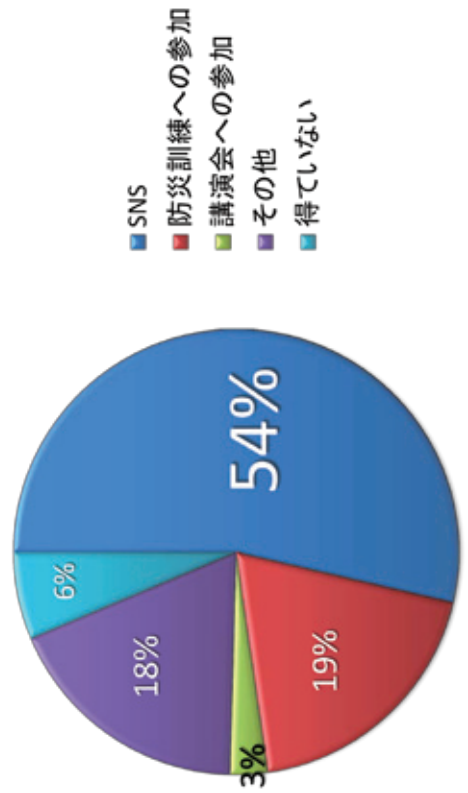
D-2

災害時に具体的な行動をとる自信がありますか？



D-3

防災に関する情報を何により得ていますか？



D-5

地域の防災訓練に参加したことがありますか？

はい いいえ

37%

63%

D-4

JETプログラムとは

- JETプログラムは、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施しています。
- JETプログラムは主に海外の青年を招致し、地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流の根を国際化教育に携わることにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進することを目的としています。国内はもとより、世界各地から大規模な国際的人的交流として高く評価されており、国際的なプログラムに係わる日本人の各々の人々と参加者が国際的なネットワークをつくり、国際社会において豊かな成果を果らせることが期待されています。

<http://jetprogramme.org/ja/about-jet/>より

E-1

ALT (外国語指導助手) とは

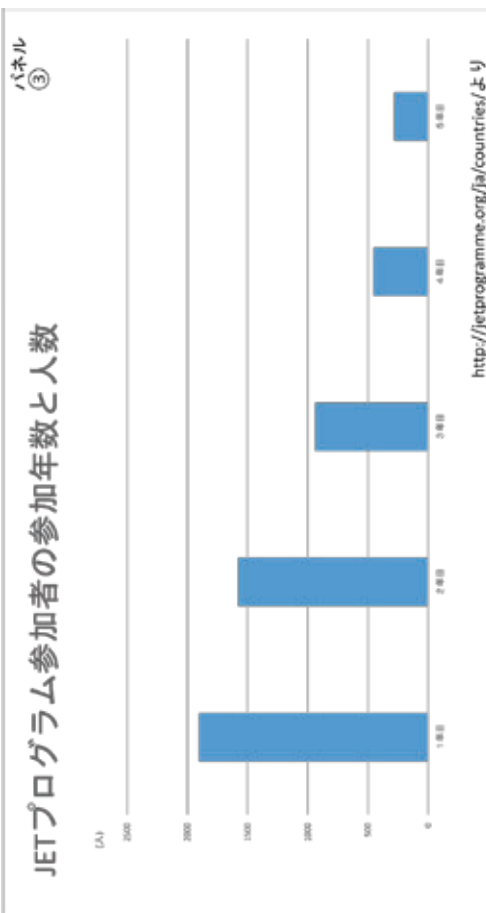
外国語指導助手 (ALT : Assistant Language Teacher) は主に学校、または教育委員会に配属されます。日本人外国語担当教員の助手として外国語授業に携わり、教育教材の準備や英語研究会のような課外活動などに従事します。JET参加者の90%以上がALTです。

CIR (国際交流員) とは

国際交流員 (CIR : Coordinator for International Relations)は、主に地方公共団体の国際交流担当部局等に配属され、国際交流活動に従事します。その職務内容から、応募者には高い日本語能力が求められます。

<http://jetprogramme.org/ja/positions/>より

E-2



E-3



日本に来ているALTの出身国44ヶ国

<http://jetprogramme.org/ja/countries/>より

E-4

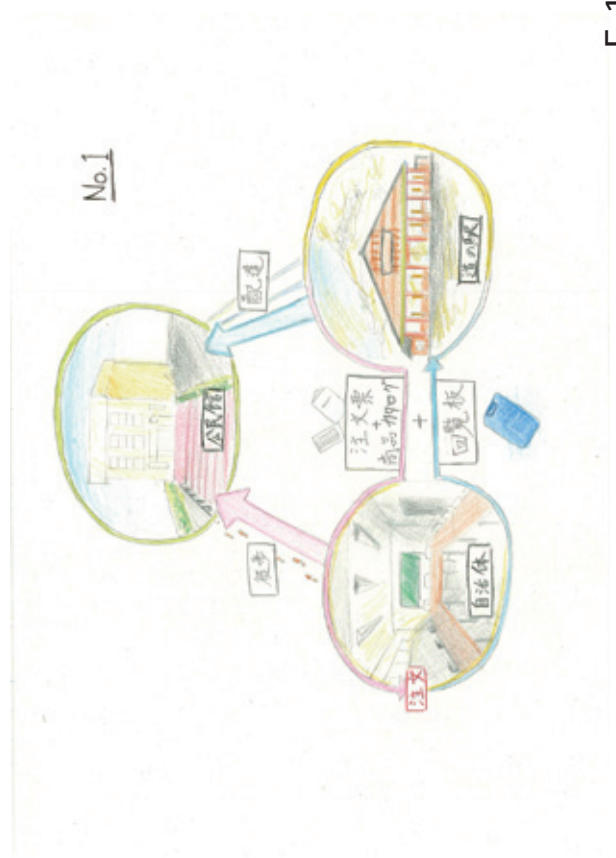
パネル⑤



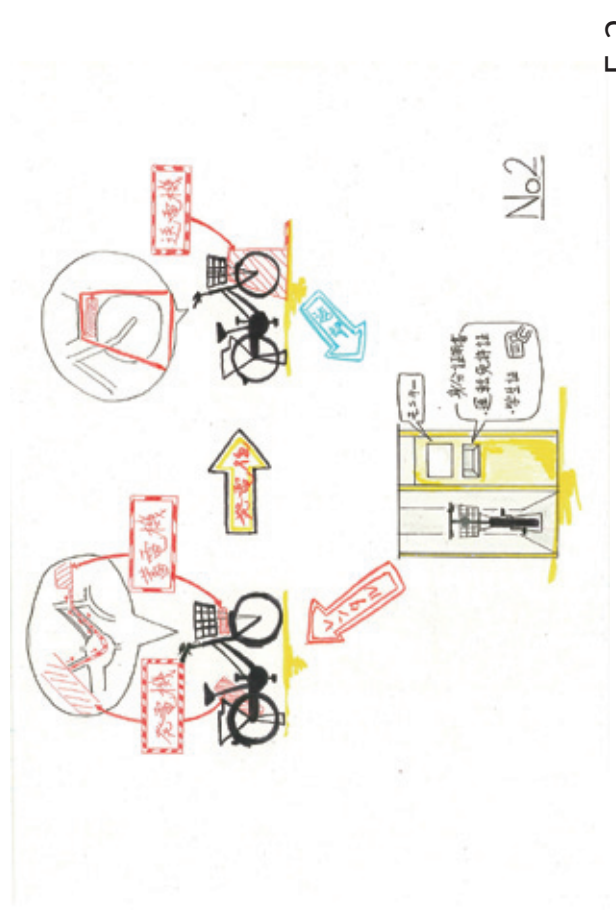
三重県に来ていたるALTの出身国11ヶ国

独自調べ

E-5



F-1

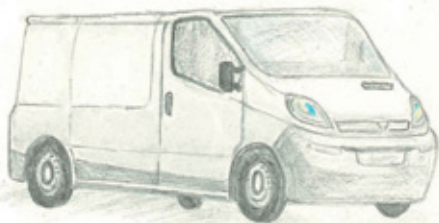


F-2

No.3



- ・冷蔵可能
- ・旅客も乗せられる。

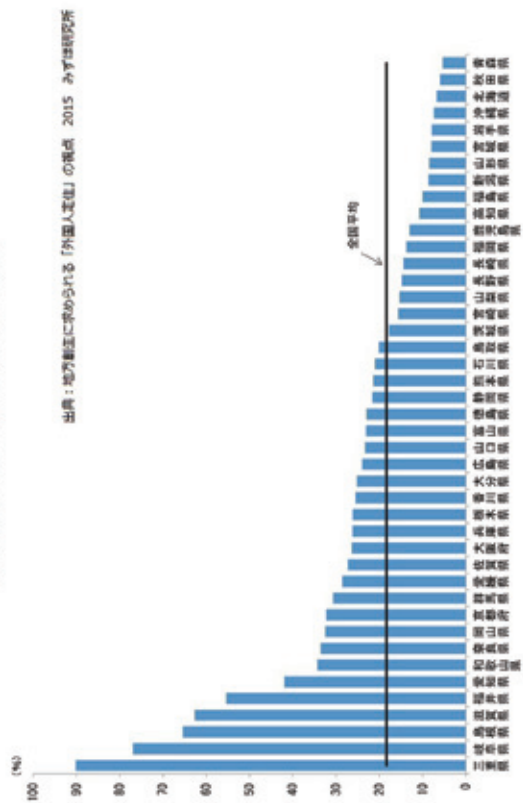


〈貨客混載の例〉

年	事業者	特徴
2011年	ヤマト運輸 - 東横電鉄	理成車庫の確保
2015年	ヤマト運輸 - 岩手県北自動車	トラックバ - 不足を補う
2014年	ヤマト運輸 - 聖南交通	
	桂川 恩便 - 北越見行	

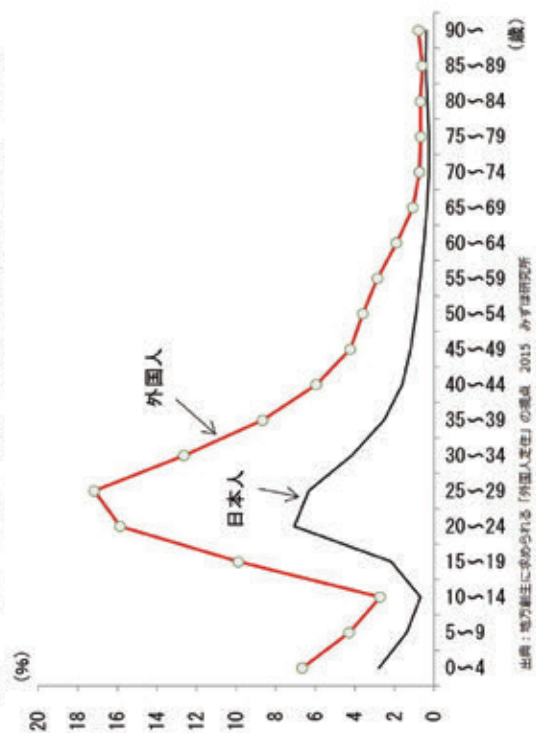
F-3

図2 日本人の東京圏への転出者数に対する
外国人の都道府県間転入者の比率



G-2

図1 人口全体に対する都道府県間移動者の割合



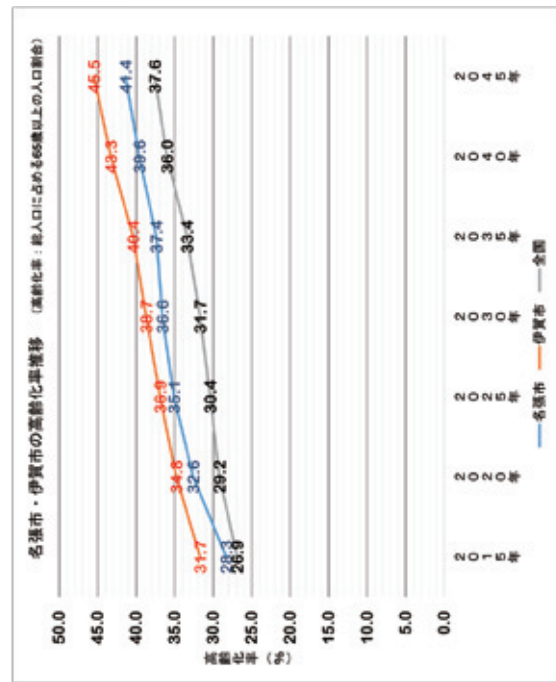
G-1

表-2. 都道府県別の施設数

都道府県名	施設数	都道府県名	施設数	都道府県名	施設数
北海道	66	東京都	33	香川県	11
青森県	27	神奈川県	35	愛媛県	10
岩手県	29	新潟県	27	大分県	7
宮城県	14	宮城県	17	兵庫県	19
秋田県	17	石川県	22	佐賀県	7
山形県	17	福井県	16	長崎県	17
福島県	30	山梨県	28	熊本県	32
茨城県	15	長野県	36	大分県	9
栃木県	31	静岡県	39	宮崎県	9
群馬県	16	静岡県	30	鹿児島県	18
埼玉県	20	愛知県	26	山口県	16
千葉県	26	三重県	18	徳島県	16
				計	962

出典：日本林学会誌2014年96号「森林環境教育の歩みと実践研究」
 「全国における森林学習施設の設置状況」
 木山加奈子・井上真理子・犬石康彦・土屋俊幸

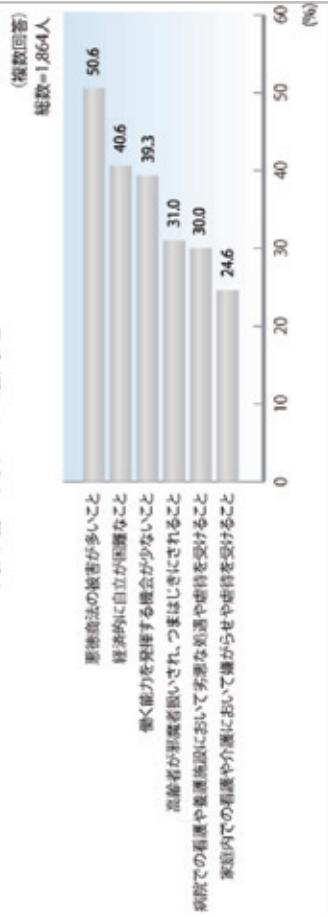
H-1



国立社会政策・人口問題研究所『将来推計人口・世帯数』『日本の地域別将来推計人口』（平成30(2018)年版推計）、『日本の将来推計人口』（平成29年版推計）より作成

I-1

高齢者に関する人権問題



引用「政府の歳入歳出オンライン」

I-2



J-2



J-4



J-1



J-3